

■審査委員長のコメント

審査委員長を務めた森ミドリさんから下記のコメントをいただきました。

【森ミドリ審査委員長の総評】

今年は泣き虫の空が続く夏でしたが、秋の風を頬に感じる昨今、いかがお過ごしでしょうか。うれしいことに、昨年より千通以上も多いご応募を戴きましたこと、心よりお礼申し上げます。

今年注目を集めた「忖度」「君の名は」などを盛り込んだ作品もたくさんありました。いろいろな意見が飛び交う中、楽しく、真摯に選ばせていただきました。賞を受けられた皆様、おめでとうございます。

【上位入賞者へのコメント】

先ずは、金賞の松田さん。

考え抜いた、ではなく、ふとそう思った瞬間を素直に五七五にしたと思われるところが、むしろ新鮮に感じました。わが娘なら、あ、そうですか、で終わるところですが、わが息子という5文字でクスッと笑わせてしまうところが面白かったです。

そして、銀賞の堀川さん。

私の場合、ペアリングで先ずイメージするのがトキでしたので、直ぐに巢立ちという明るい言葉との粹な関連性にニンマリしてしまいました。どうぞ、この川柳をつくられたからには、ぜひ、ペア・リングは帝国ホテルアーケードの「マユヤマジュエラー」でお求めくださいね。

おととと。

銅賞の上村さんへのひとことを忘れるところでした。(ちょっとわざとらしいですね)

直ぐに理解できなかった方がいらっしゃるかもしれません。あ、なるほど、そういうことねと、ジワジワと可笑しさの醸し出す川柳もいいものですね。どの指輪の送り主が「夫っと」になるのかしら？と、ダジャレー夫人こと私は思いを馳せました。

皆様、どうかこれからも、夢と笑いに満ちた川柳的な日々をお送り下さいますよう。

森 ミドリ